

証券コード：4547

決算補足資料

2026年3月期 第1四半期

2025年7月29日



キッセイ薬品工業株式会社

目 次

【四半期決算短信「当四半期連結累計期間の経営成績の概況」より抜粋】		P 1
I. 連結損益計算書の推移		P 2
II. 主な医薬品の売上推移		P 3
III. 新薬開発状況（自社）		P 4
IV. 新薬開発状況（導出）		P 4

注記

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2025年7月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【四半期決算短信「当四半期連結累計期間の経営成績の概況」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、18,681百万円（前年同期比1.0%増）となりました。過活動膀胱治療薬ベオーバ、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬タブネオス、透析患者におけるそう痒症治療薬コルスバ、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬タバリスの売上の伸長などにより、増収となりました。

また、当社が創製しセラメックス社（英国）に技術導出したリンザゴリクス（一般名）は、子宮筋腫を適応症として同社より2024年9月、ドイツにてYsely（イセルティ）の製品名で新発売されました。その後本剤は、2024年11月に子宮内膜症の追加適応症を取得し、当四半期連結累計期間においても引き続き、欧州各国他において発売及び発売に向けた準備が進められており、輸出売上高は順調に増加しています。

情報サービス事業の売上高は2,280百万円（前年同期比16.8%増）、建設・施設メンテナンス事業の売上高は992百万円（前年同期比104.4%増）、物品販売事業の売上高は236百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

・利益の状況

利益面では、増収を確保したものの、売上原価率の上昇、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は減益となった一方、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上しています。

・研究開発の状況

高リスク患者における筋層非浸潤性膀胱がん治療薬クレトスチモゲン グレナデノレブエク（一般名、開発番号：CG0070）の、本開発テーマの導入元であるCGオンコロジー社（米国）が実施している国際共同第Ⅲ相臨床試験への参画、リンザゴリクス（一般名、開発番号：KLH-2109）の効能追加（子宮内膜症）取得に向けた国内第Ⅲ相臨床試験、脊髄小脳変性症治療薬ロバチレリン（一般名、開発番号：KPS-0373）の国内追加第Ⅲ相臨床試験、急性骨髄性白血病治療薬オルタシデニブ（一般名）の国内臨床試験開始に向けた準備などをはじめとして、引き続き研究開発テーマのステージアップを図っています。

当社がライジェルフーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したホスタマチニブ（一般名、国内販売名：タバリス）は、2025年7月に、本剤の韓国におけるサブライセンス先であるJWファーマシューティカル社（韓国）より新発売されました。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	決算期	2025年3月期		2026年3月期		
		第1四半期実績	通期実績	第1四半期実績	前同比	通期予想*1 うち上期*1
売上高		21,164	88,330	22,191	4.9%	91,500 44,300
医薬品事業		18,494	75,299	18,681	1.0%	75,500 37,200
国内医薬品		15,969	63,975	16,371	2.5%	65,800 32,200
医薬品		14,855	59,108	15,315	3.1%	60,700 29,800
その他*2		1,114	4,866	1,056	△5.2%	5,100 2,400
海外ライセンス		1,626	7,770	1,431	△12.0%	6,100 3,200
技術料*3		588	2,209	15	△97.3%	800 700
輸出		1,037	5,561	1,415	36.4%	5,300 2,500
ヘルスケア食品		898	3,553	878	△2.3%	3,600 1,800
情報サービス事業		1,952	8,735	2,280	16.8%	11,400 4,700
建設・施設メンテナンス事業		485	3,435	992	104.4%	3,700 1,900
物品販売事業		231	860	236	2.2%	900 500
売上原価 (原価率%)		10,283 (48.6)	44,265 (50.1)	11,111 (50.1)	8.1%	47,100 (51.5) 22,400 (50.6)
売上総利益		10,881	44,065	11,079	1.8%	44,400 21,900
販売費及び一般管理費		8,723	38,291	8,971	2.9%	48,400 29,600
研究開発費 (売上高比%)		2,586 (12.2)	12,889 (14.6)	2,509 (11.3)	△3.0%	23,000 (25.1) 16,600 (37.5)
営業利益		2,158	5,773	2,108	△2.3%	△4,000 △7,700
営業外収益		732	1,542	839	14.6%	1,500 850
受取利息及び配当金		651	1,450	692	6.3%	
その他の収益		81	92	147	81.6%	
営業外費用		14	341	32	117.7%	100 50
支払利息		4	21	6	38.4%	
その他の費用		9	319	25	157.2%	
経常利益		2,876	6,974	2,915	1.4%	△2,600 △6,900
特別利益		2,812	12,033	2,857	1.6%	19,300 15,000
特別損失		166	3,398	25	△84.9%	－ －
税金等調整前四半期(当期)純利益		5,521	15,610	5,747	4.1%	16,700 8,100
法人税、住民税及び事業税		1,284	2,918	1,460	13.7%	6,300 4,500
法人税等調整額		131	716	△233	－	△2,000 △2,650
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益		△1	14	1	－	100 50
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		4,106	11,961	4,519	10.1%	12,300 6,200
(包括利益)		(1,594)	(△1,914)	(5,677)	(256.0%)	

*1：2026年3月期第1四半期決算発表時に公表した予想数値

*2：国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

*3：ライセンスアウトに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤルティの合計額

Ⅱ. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	2025年3月期		2026年3月期			
	第1四半期実績	通期実績	第1四半期実績	前同比	通期予想 ^{*1}	うち上期 ^{*1}
過活動膀胱治療薬 ヘオーバ	4,580	18,662	5,238	14.4%	20,400	10,000
MPA ^{*2} 、GPA ^{*3} 治療薬 タブネオス	2,168	8,989	2,851	31.5%	11,400	5,400
透析そう痒症治療薬 コルスバ	997	5,284	1,793	79.9%	7,100	3,400
高リン血症治療薬 ビートル	1,226	4,442	1,042	△15.1%	4,600	2,400
慢性ITP ^{*4} 治療薬 タバリス	491	2,190	848	72.7%	3,700	1,700
腎性貧血治療薬 ダルベポエチン アルファBS注JCR	951	3,792	891	△6.3%	3,200	1,600
糖尿病治療薬 グルベス、グルファスト	894	3,209	715	△20.1%	2,800	1,400
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	504	1,771	377	△25.2%	1,600	800
潰瘍性大腸炎治療薬 カログラ	310	1,153	286	△7.7%	1,400	700
糖尿病治療薬 マリゼブ	277	939	213	△23.1%	1,000	500

*1：2025年3月期決算発表時に公表した予想数値

*2：顕微鏡的多発血管炎

*3：多発血管炎性肉芽腫症

*4：特発性血小板減少性紫斑病

Ⅲ. 新薬開発状況（自社）

（2025年7月現在）

一般名／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分等
リンザゴリクス ／KLH-2109	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	申請中	創製品
	子宮内膜症		第Ⅲ相	創製品
クレトスチモゲン グレナデルレブエク ／CG0070	高リスク患者における 筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー(米国)
ロバチレリン ／KPS-0373	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン(TRH)作用	第Ⅲ相	導入品／塩野義製薬
マツペキソール ／KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
オルタシデニブ	再発／難治性 急性骨髄性白血病	IDH1阻害作用	臨床試験準備中	導入品／ライジェル（米国）

※ 前回公表時（2025年5月）からの変更点
オルタシデニブ（再発／難治性急性骨髄性白血病）

→ 臨床試験準備中（新規記載）

Ⅳ. 新薬開発状況（導出）

（2025年7月現在）

一般名	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	4カ国 ^{*1}	セラメックス(英国)	承認申請中
			台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	承認申請中
	子宮内膜症		3カ国 ^{*2}	セラメックス(英国)	承認申請中
シロドシン (silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿 障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用	ベトナム、他	エーザイ(日本)	承認申請中

*1 スイス、ブラジル、南アフリカ共和国、メキシコ

*2 ブラジル、南アフリカ共和国、メキシコ

※ 前回公表時（2025年5月）からの変更点
リンザゴリクス（子宮内膜症・欧州）
リンザゴリクス（子宮内膜症・3カ国）
ホスタマチニブ（韓国）

承認取得

→

発売（削除）

→

承認申請中（新規記載）

→

発売（削除）

発売準備中